

開催されたイベントや講座などを写真で紹介!!

フット! ホット! HOT!

1/31(金)
~2/14(金)

ランタンの灯りに心も体も包まれる



新地中華街を中心に「2014長崎ランタンフェスティバル」を開催。約1万5,000個のランタンの光で長崎のまちは彩られ、湊公園など各会場には大型オブジェが所狭しと並びました。訪れた多くの人は、ランタンの美しい光に見入っていました。

連日、中国色豊かなイベントが披露され、「皇帝パレード」では皇帝役として、映画「ペコロスの母に会いに行く」原作者の岡野雄一さん、タレントで長崎市観光名誉大使の片岡鶴太郎さんが登場。豪華な衣装をまとった行列を一目見ようと沿道は多くの人でにぎわいました。願いが叶うといわれるロウソク祈願四堂巡りや、縁結びの赤い糸祈願などもあり、来場者はそれぞれのランタンフェスティバルを楽しんでいるようでした。

1/25(土)
・26(日)

わたしが主役、みんなが主役! すてきでしょ わたしのまち



長崎ブリックホール開館とともに始まった市民参加舞台。15周年の今年は「長崎なう~私たちの街から~」を公演。公募で集まった小学生から60歳代までの市民役者69人が出演しました。

テーマは「長崎の今」。「香焼」「東長崎」「琴海」「中心部」の4地区を舞台に、それぞれの地域の日常やそこに暮らす人々の想いを、演劇や歌で表現。笑いあり涙ありの舞台に、出演者だけでなく会場の観客もあらためて長崎の良さを見つめ直す公演となりました。



特集

市政

長崎市民

プ
レ
ゼ
ン
ト

生
活
情
報

健
康

子
育
て

税

福
祉

講
演
講
座

も
よ
お
し

お
し
ら
せ

募
集



2/15 (土) 見て、聞いて、体験しよう!!



日本や海外の文化の紹介をとおして国際理解を深めてもらおうと、長崎ブリックホールで「ながさき異文化ちゃんぽんフェスタ」を開催。さまざまな国の衣装・音楽・遊びなどを体験できるブースはどっこも大人気で、初めて触れる海外の楽器などを演奏して楽しむ子どもたちも!

留学生が日本文化を体験する場面もあり、オランダ人のナス・ルークさん(24歳)は「日本文化に興味があり、茶道が体験できてよかった」と話していました。参加者はそれぞれに新しい発見のある一日を過ごしました。



2/9 (日) 恋愛に有効!?「ゆうこう」スイーツ作り

長崎市内に限られた地域にしか自生が確認されていない伝統果実の「ゆうこう」。その「ゆうこう」を使ったバレンタインチョコ作りを開催。講師の説明の後、参加者はトリュフチョコレートとクリームエクレア作りに挑戦!会場はにぎやかな笑い声でとても楽しそうな雰囲気。

できあがったスイーツに、参加者は「香りと酸味がまろやかで、ゆうこうが好きになりました」と満足そうでした。



2/4 (火) 「かなわない夢はない」

国際的なコンクールで優勝するなど世界的に活躍するピアニスト辻井伸行さんの母親 辻井いつ子さんを招いて「人権問題講演会」を開催。「明るく、楽しく、そして諦めない生き方」と題して、伸行さんが全盲と分かりながらも二人三脚で伸行さんのピアニストへの夢を実現させた逸話を紹介。「困難があっても気持ちを強く持って進めばかなわない夢はない」と語り、市民会館をうめた約600人の観客から大きな拍手が送られました。

